



## TLS コンテキストの設定

---

トランスポート リスナーには、単一のトランスポート レイヤ セキュリティ (TLS) コンテキストを個別に関連付けることができます。また、各 TLS コンテキストに複数の暗号とピア サブジェクトを持たせることができます。

TLS コンテキスト設定により、暗号とピア サブジェクトをトランスポート リスナーにマッピングできます。

## TLS コンテキストの検索

ネットワークに複数の TLS コンテキストが存在する場合がありますため、Cisco Unified Presence Server では、具体的な検索条件に基づいて特定の TLS コンテキストを検索することができます。特定の TLS コンテキストを検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザセッションでの作業中、クライアントマシンの cookie により、検索/一覧表示の設定が保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニューに戻る、あるいは、ブラウザを閉じてから新しいブラウザウィンドウを開くと、検索の設定を変更するまで、Cisco Unified Presence Server の検索の設定がシステムで維持されます。

### 手順

**ステップ 1** [Cisco Unified Presence Server] > [セキュリティ] > [TLS コンテキスト設定] の順に選択します。

[TLS コンテキストの検索と一覧表示 (Find and List TLS Contexts)] ウィンドウが表示されます。ドロップダウンリストボックスを使用して TLS コンテキストを検索します。

**ステップ 2** [TLS コンテキストの検索と一覧表示 (Find and List TLS Contexts)] ウィンドウのドロップダウンリストボックスから、次のいずれかの検索条件を選択します。

- が次の文字列で始まる
- が次の文字列を含む
- が次の文字列と等しい
- が次の文字列で終わる
- が空である
- が空ではない

**ステップ 3** 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索] をクリックします。



ヒント

データベースに登録されているすべての TLS コンテキストを検索するには、検索テキストを入力せずに [検索] をクリックします。

検出された TLS コンテキストのリストが表示されます。

**ステップ 4** レコードのリストから、検索条件に一致する TLS コンテキストをクリックします。

選択した TLS コンテキストがウィンドウに表示されます。

### 追加情報

P.15-5 の「関連項目」を参照してください。

## TLS コンテキストの設定

この項では、Cisco Unified Presence Server データベースで、TLS コンテキストを追加または更新する方法について説明します。

### 手順

**ステップ 1** 次のいずれかのタスクを実行します。

- TLS コンテキストを追加するには、[Cisco Unified Presence Server] > [セキュリティ] > [TLS コンテキスト設定] の順に選択し、[新規追加] をクリックします。
- TLS コンテキストを更新するには、P.15-2 の「[TLS コンテキストの検索](#)」の手順に従って TLS コンテキストを検索します。

[TLS コンテキスト設定 (TLS Context Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [表 15-1](#) の説明に従って適切な設定値を入力します。

**ステップ 3** 適切な TLS 暗号を選択するには、上向きまたは下向きの矢印をクリックします。

**ステップ 4** 適切な TLS ピア サブジェクトを選択するには、上向きまたは下向きの矢印をクリックします。



**(注)** TLS コンテキストに対する変更を有効にするには、SIP プロキシ サーバを再起動する必要があります。プロキシ サーバを再起動するには、[Cisco Unified Presence Server] > [プロキシサーバ] > [設定] の順にクリックします。詳細については、[P.8-1](#) の「[プロキシサーバの設定](#)」を参照してください。

**ステップ 5** データを保存するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [保存] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される [保存] ボタンをクリックします)。

### 追加情報

[P.15-5](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## TLS コンテキストの設定値

表 15-1 で、TLS コンテキストの設定値について説明します。関連する手順については、P.15-5 の「関連項目」を参照してください。

表 15-1 TLS コンテキストの設定値

フィールド	説明
名前 (Name)	このパラメータは、関連付けられているトランスポートリスナーの一意の名前を指定します。
説明 (Description)	このパラメータは、TLS コンテキストの説明を指定します。
承認ポリシー (Authorization Policy)	このパラメータは、特定の TLS コンテキストに対する認証の種類を指定します。ドロップダウン リストから、 <b>SERVER</b> または <b>PEER</b> (デフォルト) を選択します。
TLS 暗号のマッピング (TLS Cipher Mapping)	これらのフィールドには、選択した TLS 暗号と使用可能な TLS 暗号が表示されます。
TLS ピアサブジェクトのマッピング (TLS Peer Subject Mapping)	これらのフィールドには、選択した TLS ピア サブジェクトの中から使用可能な TLS ピア サブジェクトが表示されます。
	 <p>(注) TLS ピア サブジェクトは、TLS ピア サブジェクトのウィンドウで定義できます。</p>

## TLS コンテキストの削除

この項では、TLS コンテキストの削除方法を説明します。

### 手順

**ステップ 1** P.15-2 の「[TLS コンテキストの検索](#)」の手順に従い TLS コンテキストを検索します。

**ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除する TLS コンテキストを選択します。



**(注)** TLS コンテキストに対する変更を有効にするには、SIP プロキシ サーバを再起動する必要があります。プロキシ サーバを再起動するには、**[Cisco Unified Presence Server] > [プロキシサーバ] > [設定]** の順にクリックします。詳細については、[P.8-1](#) の「[プロキシサーバの設定](#)」を参照してください。

**ステップ 3** TLS コンテキストを削除するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される **[選択項目の削除]** アイコンをクリックします（または、ウィンドウの下部に表示される **[選択項目の削除]** ボタンをクリックします）。

TLS コンテキストが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence Server により、その TLS コンテキストが削除されます。TLS コンテキストが使用中の場合は、メッセージが表示されます。

### 追加情報

[P.15-5](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [TLS コンテキストの検索 \(P.15-2\)](#)
- [TLS コンテキストの設定 \(P.15-3\)](#)
- [TLS コンテキストの削除 \(P.15-5\)](#)

